

令和元年度 自己評価・学校関係者評価結果公表シート

学校法人 子宝幼稚園

1. 本園の教育目標

“よく遊び よく学ぶ 瞳輝く子ども”を育てる為に、子宝を愛情をもって、優しく厳しく
教え育む。教職員が、チームワークを大切にしながらも、子どもの為に切磋琢磨し、
幼児教育に自信のもてる幼稚園を目指す。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

・教員の採用・養成
・園の安定
・特別支援
・防災意識を高める

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・教員の採用・養成	1 名の新卒と経験者の採用が叶い、大事にじっくりと育てていきたい。OG の非常勤の先生が1人入られて計4人となり、本園の理念、方針を知る先生のサポートは子ども達にとってはもちろん、先生達にとっても心強く感じる。
・園の安定	少子化や市の待機児童対策により、特に私学助成の新入園児が堺市でも減少しているのが現状である。そこで、本園でもカンガルー教室以外に満3歳児教室を開始したところ、7月で定員が一杯となり、早期の入園を求める風潮を感じる。
・特別支援	支援を必要とする子どもが確実に増えている中で、無理のない中でその子達の成長に担任、フリー、カウンセラーが一丸となり、成長に努力をした。
・防災意識を高める	本園の位置は比較的高台にあり、緊急避難地域ではないが、豪雨や地震等に対して、全員の意識を高め、マニュアルを共有し、安全対策に努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新制度に対する国や自治体の補助が厚い中、子宝の幼児教育に理解を示し、入園をさせたいと思って頂ける幼稚園を目指すのが本園である。本年 10 月より、幼児教育の無償化が実施をされ、やや園児減が進む中で、経営が安定し、より教育に専念出来る。只、良き人材の採用、育成は難しく、特に3歳児の2人担任制は25人の1人担任として、フリーの先生の協力を仰ぐ必要がある。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
3歳の教育体制	年少児は経験のある先輩が若い後輩を育てるべく、本園では2人担任制を築いてきた。しかし、子どもの人数や職員の人数の関係もあり、補助は入るものの、一人担任として、意識とカリキュラム、準備等を作り替えたい。
保育環境の充実	2年後の50周年の一環として、教室、廊下、遊戯室、プール、トイレにと大幅改修をして園の施設の充実、美化を図りたい。
新型コロナウイルス	想像を絶する気候変動や目に見えない新型コロナウイルスの脅威に対して、保護者の方々の協力を得ながら、子どもを安全に守る責任と使命を果たさねばならない。又、先生達と共に、子どもの経験と行事を大切に可能な限りベストを尽くしたい。
50周年記念	昭和48年創立以来、50周年は大きな節目であり、初めて一つの記録としての記念誌を作成する。その他子ども達と共にお祝いを計画する。又、園としての今後を検討したい。

6. 学校関係者の評価

- ・母親の就労支援に重きを置く政策に伴い、その施設が多い中、“働くお母さんには適さない幼稚園”を看板に実践されているのは珍しく貴重である。又、フリーとして復職されている先生がいるのは嬉しい。
- ・満3歳児教室の実施は喜ばれているが、入れない子どもが多いのが残念。

7. 財務状況

公認会計士監査より、適正に運営されていると認められている。